

金沢中心部の復活鮮明

公示地価

ホテル、マンション需要拡大

19日に発表された金沢市内の商業地の公示地価では、高い上昇率を示した片町など中心部の復活が鮮明になった。ホテルやマンションの開発が金沢駅前や南町周辺から香林坊、片町方面に波及するのに対応するように、まちなかの地価上昇が目立つ。金沢駅周辺も続伸しており、不動産関係者からは「金沢の『都心軸』周辺の上昇傾向は今後も続く」との期待感が出ている。【1面に本記】

「上昇範囲が駅周辺から中心部に延びている。まちなかに勢いが出てきたという印象だ」。地価公示石川分科会の武田昭男代表幹事はこう話す。

市内の商業地は29調査地点のうち7割超の22地点が上がった。中でも中心部の上昇率は片町2丁目13・1%(前年5・9%)、香林坊2丁目10・6%(同

6・3%)、堅町が8・1%(同3・0%)と、それぞれ大きく伸びた。石川県宅地建物取引業協会の新合健二会長は中心部の上昇の背景について「高

齢化が進み、公共交通機関が充実する中心部の不動産への需要が高まっている」と指摘する。その上で「住

む必要もなく開発の人氣が集まっている」と語る。柿木昌周周辺では現在、分



石川県内の最高価格地点となった金沢市本町2丁目。伸びは鈍ったものの、上昇は続いた

ホテルやマンションの建設が進む金沢市中心部は、前年より上昇率が鈍った地点が目立った

11日午後、大津市

呼吸器外し「再審確定」

呼吸器外し事件で再審開始の確定を受け、記者会見する元看護助手西山美香さん

金沢市内の事業所などに19日、北陸電力の料金見直しを提案する不審な電話が複数あったことが同社などへの取材で分かった。同社

用水で乳児遺体発見

白山の遺棄事件 目立った外傷なし

白山市内の公園のトイレで出産した乳児の遺体を放置した疑いで同市中成2丁目、会社員西山裕子容疑者(38)が死体遺棄容疑で逮捕された事件で、白山署は19日午後1時ごろに裸の男児の遺体を発見した。公園か

たが、本町2丁目がプラス7・9%(前年8・5%)で100万円台に乗せるなど好調を維持する。県内商業地の上昇率上位10地点のうち、駅周辺が本町2丁目を含む4地点を占めた。周辺ではホテルやオフィスの建設が進んでおり、新谷会長は「また平面駐車場が多く、開発用地として狙う業者は多い」と語る。駅と香林坊、片町をつなぐ結節点に当たる武蔵周辺も上昇傾向だ。日本郵便旧北陸支社やNHK旧金沢放送会館の開発を控え、上昇率は大手町が12・4%(前年10・5%)、安江町が9・0%(同7・7%)と拡大した。武田代表幹事は、4年後の新幹線敦賀延伸の前に、金沢の商業地の不動産需要は当面衰えないだろう」との見通しを示した。

「アイコム」と名乗り、「北陸電力の料金プラン見直しを紹介させてください」となど告げているとみられる。石川県警に